

広島市における競技人口減少種目等への対応に向けた研究会

1 研究会について

(1) 目的

現在、競技人口が減少している種目については、競技を行う機会や場所の確保が困難になることなどにより、競技活動や競技力の維持・向上が図られなくなり、競技人口の減少が一層加速するといった事態が発生している。こうした事態を放置すれば、競技種目の多様性を損なうだけでなく、競技文化そのものの喪失をも招くことになり、本市が目指す新しい「スポーツ王国広島」の実現にとって、大きな障害となる。

このため、今後競技人口が減少すると見込まれる種目について、外部の有識者等を入れた研究会を開催し、こうした事態への効果的な対応策を検討することとする。

(2) 検討内容

- ・ 競技活動の維持（競技場所の確保を含む）に関すること。
- ・ 競技力の維持・向上（指導者の確保を含む）に関すること。
- ・ その他競技種目の多様性の確保に関すること。

(3) 対象とする競技

柔 道	柔道や剣道は、中学校の部員数の減少に加え、スポーツ少年団の数も減少傾向にあり、更なる競技人口の減少が懸念される種目であるため。
剣 道	

＜中学校部活動に在籍する生徒数の現状＞

「令和 4 年度 広島市中学校体育連盟 研究部調査報告書」のデータによると、広島市内の市立、私立、国立の中学校部活動に在籍する生徒数は減少傾向にあり、直近 2 5 年間で最も在籍生徒数が多かった平成 1 1 年（1 9 9 9 年）には、2 7, 6 1 3 人であったのに対し、令和 4 年（2 0 2 2 年）は、2 0, 0 4 6 人と約 2 7 % 減少している。

特に剣道については、1 9 9 9 年（平成 1 1 年）と令和 4 年（2 0 2 2 年）を比較すると、約 4 4 % 減少しており、減少幅が大きい。また、剣道の推移とよく似ているのが柔道である。

参考（部活動への加入率について）

直近 1 0 年間の生徒総数における運動部活動への平均加入率は約 6 4 % ある中（そのうち男子の加入率が約 7 5 %、女子の加入率が約 5 4 %）、令和 4 年度の加入率は 5 9 %（そのうち男子約 6 8 %、女子約 5 1 %）と加入率についても減少傾向にある。

2 広島市におけるスポーツ振興の基本的な考え方について

基本理念

新しい「スポーツ王国広島」を目指して
～スポーツが好き 仲間が好き 広島が好き～

スポーツは、言葉や国籍、信条、性別の違いを超えて感動を分かち合えるものであるとともに、それ自体が生きがいになるだけでなく、健康の増進や地域コミュニティの活性化、まちづくりにも寄与するものである。

ここ広島において、全ての市民が日常生活の中でスポーツに接し、あるいは参加することができる環境が整うならば、全ての市民が居心地のよい、笑顔であふれる平和なまちを体感できるようになる。

こうした広島の将来像を実現するためには、子どもから高齢者、障害者や健常者、初心者からトップアスリートまで全ての市民がその思いに沿って様々なスポーツと関わりが持てるようにする必要がある。

そこで、広島市は、このような将来像を見据え、『新しい「スポーツ王国広島」を目指して～スポーツが好き 仲間が好き 広島が好き～』というスローガンを掲げ、ハード及びソフトの両面にわたる環境づくりを目指すこととする。

参考（従来の「スポーツ王国広島」との相違）

従来の「スポーツ王国広島」は、多数存在したプロチームやトップアスリートが、競技力を発揮するというイメージをもとに掲げたものであるのに対し、新しい「スポーツ王国広島」※は、全ての市民が主役となり、その思いに沿って様々なスポーツとの関わりが持てるようにするというイメージをもとに掲げたものである。

※新しい「スポーツ王国広島」は、広島市基本構想第 5 次広島市基本計画《2009-2020》から導入された考え方

